

養液栽培における高温性ピシウム病害の「安全性診断マニュアル」を作成

高温性ピシウム菌による被害



トマト



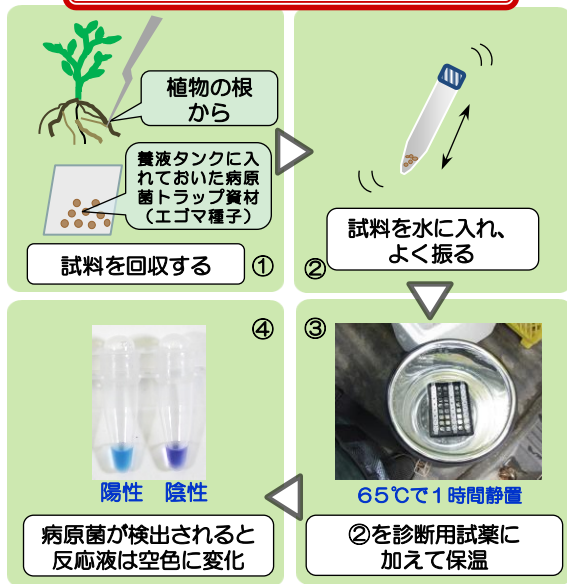
ポインセチア



バラ

高温性ピシウム菌は、夏から秋の高温期に養液を通じて短時間で広がり、萎れや根腐れなどを起こします。

高温性ピシウム菌の簡易検出法



作成した「安全性診断マニュアル」



本研究は、農林水産省「農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業」により実施しました。

高温性ピシウム菌による病害が、野菜・花きの養液栽培で大きな問題になっています。被害の軽減には、発病する前の早期診断による病原菌の検出と適切な対策が重要です。

そこで、農業現場において短時間で正確に病原菌を検出できる「簡易検出法」を開発しました。これを利用すると、病

原菌の有無の確認や、被害の予測を簡単に行うことができます。

さらに、簡易検出法を基に、既存の防除技術や培養液の殺菌技術を組み合わせた「安全性診断マニュアル」を作成しました。これにより、高温性ピシウム病害の早期対策が可能となり、被害を減らすことができます。

(環境基盤研究部・企画普及部)

本マニュアルは、<http://www.green.gifu-u.ac.jp/~kageyamalab/index.html>からダウンロードすることができます。